主催：大沼ラムサール協議会，大阪大学＋東京大学大沼フューチャー・デザイン・プロジェクト
後援：北海道ラムサールネットワーク（HRN），日本国際湿地保全連合（WIJ），Wetland Seminar
協力：環境省北海道環境パートナーシップオフィス（EPO 北海道），七飯町

北海道e-水プロジェクト

本事業は、北海道、北海道コカ・コーラボトリング㈱、㈱ダスキン北海道の三者による協働事業「北海道e-水プロジェクト」の支援を受けて、実施します。

【プログラム】

基調講演

「ラムサール条約湿地とビジターセンターの役割」

小西　敢　氏（浜頓別町産業振興課・参事，北海道ラムサールネットワーク・代表）

パネルディスカッション

「自然のワイズ・ユースと地域活性化」

ーパネリストー

小西　敢　氏（浜頓別町産業振興課，北海道ラムサールネットワーク）
橋本　和彦　氏（北海道生物多様性保全課自然公園グループ）
堀　　純　氏（大沼合同遊船，大沼小学校 PTA 会長）
大崎　美佳　氏（EPO 北海道）
池田　誠　氏（大沼ラムサール協議会，北海道国際交流センター）

ーコーディネーターー

武田　裕之　氏（大阪大学＋東京大学大沼フューチャー・デザイン・プロジェクト）

※プログラム・パネリストは変更することがございます。予めご了承ください。

ラムサール条約登録湿地は現在全国 52 カ所となっており、北海道は最も多い 13 カ所が登録されていますが、ビジターセンターを持たないのは大沼のみとなっています（2019 年 1月現在）。ビジターセンターは、地域観光や地域の環境学習といった教育としての機能だけでなく、地域の人々が集まり、活動を行う、地域活性化拠点としてのポテンシャルも秘めています。本シンポジウムでは、ビジターセンターと地域活性化に視点を注目し、講師やパネリストと共に、今後の大沼地域の可能性の「種」を話し合うことを目的としています。

ラムサール協議会 × 大沼未来会議
特別シンポジウム

大沼における ワイズ・ユース とは？

～自然と共に生きるまちづくり～

日時：**7/19(fri.) 17:00~**

参加費：無料
場所：南北海道大沼婦人会館　大集会室

申込：大沼ラムサール協議会
TEL　0138-67-5855
E-mail　onumaramsar01@gmail.com
メールにて①ご氏名・②ご連絡先をご連絡ください